

西小は おおきな 家族

Family

～校長のたわいもない独り言～

平成 30 年 9 月 27 日 (木) No.28
発行人

川崎は晴れ男なんだけど。雨男は
だれだろ？〇頭 t かな？の川崎先生

★運動会に想う・・・ちょっと長くなります(_)>: その1★

・開会式。一生懸命の心地よさ。例えばエールの交換が終わった後に残る満たされた気持ち。そして小学生から出る“地域を元気にしたい”という言葉。これが西小の運動会か。その一つ一つに今日一日の期待感が嫌が上でも高まる。

・大玉を転がす3, 4年生。簡単なようでいて、なかなか難しい競技だ。二人の息が合わないと左右にぶれる。中には大玉の方がスピードが速くて手が届かない子も。そんなハプニングがまた競技の楽しさを高めている。

・5年生の親子競技。やっぱり大人は一味違う。競技の中にも場を盛り上げようと、いろんなアドリブを放り込んでくる。見るからにスポーツをしてるキレのある走りがあったり、自重で会場を沸かせるお父さんがいたり、なんともあたたかい雰囲気笑顔が生まれる競技でした。

・そんな競技が終わると、サッと出てきてラインを引く体育員会のライン係。放送委員会は緊張の中、競技が盛り上がるよう声を枯らし、審判はゴールテープを持って走る。得点係は得点を計算し集約し、児童会本部は、開閉会式だけでなく全体を見ながら動きをフォローし、それぞれがそれぞれの仕事を走り回ってこなしている。こういう裏方の活動があってはじめて運動会は成り立っている。

・1, 2年生の玉入れ。玉の多くはカゴの上を行ったり来たり。それもそのはず、1, 2年生がやるとカゴがなんと高く感じるのか。一つ一つの動作がとっても愛らしい。

・4年生の親子競技。二人三脚。ぜったい家で練習してきたでしょ。そうでなくてはあのスピードは絶対に出ない。と感じる親子がいくつも。

・5, 6年の競技“すべてをうばえ”。まあ、タイヤと竹の棒はわかる。しかしマットを奪い合うとは！その上、自分の陣地に入れてもコソッと取られる。何とかかカオスの世界。見ている方は大笑いだが、やってる方はとにかくうばえーっ！ああ、カオス。

・1年生のリレー。小っちゃい！すばしっこい！かわいい！これに尽きる。

・6年生親子競技の白くま親子。そう言えば10年ちょっと前に川崎も娘とでたなあ。まあなんというか、場を盛り上げる競技ですな。親も子も、狙うポイントがよくわかってらっしゃる。まーったく順位なんて、どーでもいい競技ですね。

・2年生リレー。2年生になるとこんなにも速くなるんだ。一生懸命のデッドヒートは見ごたえ十分。準備も片づけも全力疾走。なんて爽やかなこと。

・来入児の宝ひろい。ヤバい。メチャかわいい。おじさんメロメロです。

・綱引き。瞬間的に勝負が決まってしまうのは体重の差か？。いやいや青組はみーんな上品なんですよ。川崎だって綱引きやったら全敗するもん。

・祖父母競技。ん？本当におじいちゃんおばあちゃんですか？お父さんお母さん混じってなかったですか？いやあ、まだまだ若いですね。川崎もこういう元気なおじいちゃんになりたいです。そして孫と全力で走ってやるんだ(=^・^=)